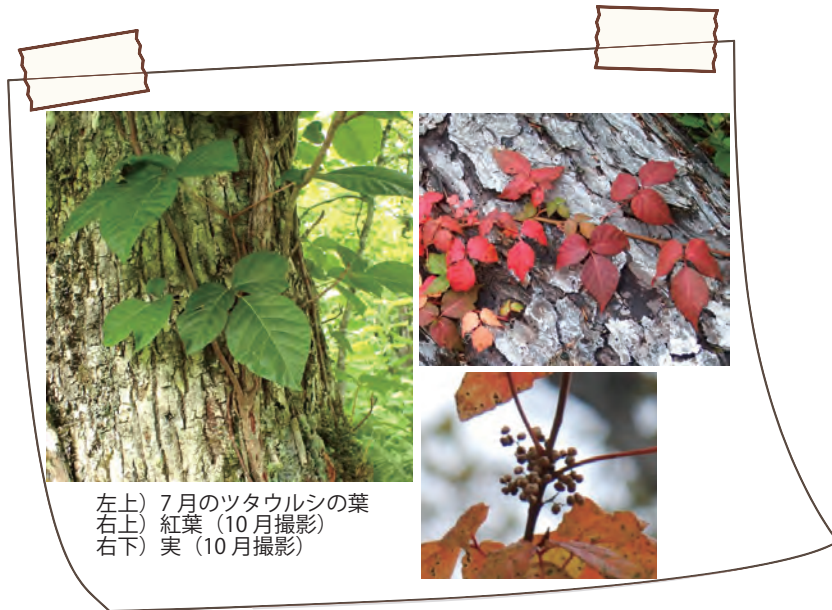




# ネイチャーセンターだより

2024年9・10月号

## 新・いきもの図鑑



左上) 7月のツタウルシの葉  
右上) 紅葉 (10月撮影)  
右下) 実 (10月撮影)

### 【参考文献】

叶内拓哉. 2006. 野鳥と木の实ハンドブック. 文一総合出版.  
佐藤孝夫. 2008. 新版北海道樹木図鑑. 亜璃西社.

## ツタウルシ (蔦漆)

つる性で他の木の幹をよじ登るように伸びていく植物で、3枚の卵形の葉っぱがセットになって出ているのが特徴です。春の出始めの葉は縁が少し赤みを帯びています。9月下旬～10月ごろには橙色や赤色に紅葉し、まだ緑の多い林内で目を楽しませてくれる植物。ただし、ウルシ科の植物で触れるとかぶれる恐れがあるのでご注意ください。紅葉したきれいな落ち葉も触れるのは控えましょう。

6月に目立たない小さな花を咲かせ、10月ごろに実が熟します。褐色の地味なこの実はカラスやキツツキの仲間、エゾリスなどが食べにくるので、冬になったら近くで生きものを見ることができるともかもしれません。東梅自然学習林ではエナガ (シマエナガ) が来ているのを見た事がありますが、おそらく実についている小さな虫を食べに来ていたものと思われます。

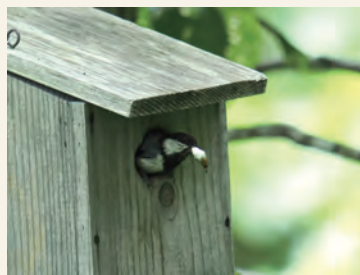
## 巣箱でシジュウカラが子育て

ネイチャーセンター周辺には小鳥用の巣箱がいくつかかけられています。そのうちのひとつ、ネイチャーセンターの観察窓正面に見える巣箱でシジュウカラが巣立ちました。

7月14日にコケをくわえて巣箱を出入りする姿をレンジャーが確認。8月6日には親鳥がエサの虫をくわえて巣箱に入る姿や、ヒナの糞をもって出てくる姿を来館された方が見つけました。その後、親鳥が巣箱を出入りする頻度が増えていきました。8月19日には巣立ち間際のヒナが顔を出し、親鳥も周辺の木々からヒナを呼んでいるようでした。翌日には静かになり巣箱の出入りもなかったことから、19日中か翌朝には巣立ったものと思います。

巣箱は、施設ボランティア「スंक」の皆さんが小鳥たちに安心して使ってもらえるよう毎年掃除などのメンテナンスをしています。

※子育て中の野鳥の観察は、野鳥と十分な距離をとり、追い回さず、長時間の観察は控えましょう。



## NEWS

◀ヒナの糞をもって巣箱から出てくるシジュウカラ親鳥



巣箱から顔を出したシジュウカラヒナ▶

※写真はいずれも、野鳥にストレスをあたえないよう、ネイチャーセンター内から短時間で撮影しています。



◀昨年の巣箱メンテナンスの様子

# 見どころMAP

★9月はまだ蚊が多い時期です。なるべく肌を出さず、首には手ぬぐいなどを巻き、虫よけスプレーなどは服の上からもすることをおすすめします。  
★なるべく一人での行動はさけ、音を出して歩くなど、ヒグマに出会わない対策をしましょう。



- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 🏠 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

## 9・10月の見どころ予報

- 凡例
- ◎ ぜったい見られる (と思う)
  - ちょっと気をつければ見られる
  - + よーく気をつければ見られる
  - ・ めったに見られない

オジロワシ オオワシ	○	オジロワシは樹木の枝や消波ブロックなどに止まっているところが見られます。干潮時には、風蓮湖や根室湾の干潟に降りていることもあります。オオワシは例年、10月下旬が初認です。
タンチョウ	○	春国岱周辺の湿地や干潟などで見られます。アオサギの群れに混ざって休息していることもあります。
シギチドリ類	+	干潮時に春国岱湾の干潟や根室湾の干潟で採食の様子が9月下旬頃まで観察できます。過去、9月によく観察されたのは、メダイチドリ、ミヤコドリ、ホウロクシギ、キアシシギ、トウネンなど。昨年は10月にウズラシギの群れが観察されています。
オオハクチョウ	+	例年、10月10日前後が初認です。春国岱のほか、東梅ハイド、温根沼大橋周辺、道の駅スワン44ねむろから観察できます。
カモ類	○	9月中旬頃から渡来し、よく見られるようになります。最も数が多いのはヒドリガモとオナガガモ。マガモ、ハシビロガモ、コガモなども少数見られます。極まれにコクガンが混ざることがあります。
春国岱	野鳥 (森)	カラ類やキツツキ類が見られます。運が良いと、クマゲラの鳴き声が聞けたり、森の上を飛ぶ姿が見られます。
	花	9月はエゾオグルマ、ウンラン、ウラギク、エゾハコベなどの花が見られます。木橋やキタキツネコース周辺でアッケシソウが紅葉し始め、10月中旬ごろまで見られます。
自然 学習林	野鳥	ハシトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、キバシリ、キツツキ類 (アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ) が見られます。
	花	9月にはエゾトリカブト、ゲンノショウコ、ミゾソバ、ナギナタコウジュ、サラシナショウマなどの花が見られます。
	紅葉	ツタウルシ、ヤマブドウ、シウリザクラなどが紅葉し始めます。
危険生物		エゾイラクサ・ツタウルシには、さわらないようにご注意ください。マダニ・カ・ヌカカを防ぐため、虫よけ剤の塗布をおすすめします。



## ヤマハノキを枯らしたのは誰？

8月上旬、東梅駐車場からネイチャーセンターへ続く道の周辺で木々の葉が茶色くなっていることに気が付きました。地面には多くの落ち葉も。落葉にはまだ早すぎる時期です。さて、原因は？犯人は？

よく見ると、葉は葉脈を残して多くが食べられています。また、葉が枯れているのはどれもヤマハノキでした。落葉をよく見ると、なにやら黒い小さな幼虫がいます。調べてみると、ハノキハムシの幼虫でした。まだ木についている葉にも、よく探すとこの幼虫がたくさん見つかり、どうやら木の葉を枯らした犯人（虫）はハノキハムシのようです。

ハノキハムシの幼虫は葉に穴をあけたり端から食べたりするのではなく、表面を削るように食べ進めます。そのため、食べられた葉は硬い葉脈を残したスケスケの葉に。食べられたヤマハノキはどんどん葉を落とし、丸坊主になってしまった木もあります。ハノキハムシの食害については対処法がないのですが、木そのものを枯らしてしまうことはほとんどないようで、来春にはまた葉を出してくれることでしょう。

木の葉が枯れてしまうのは残念ですが、ハノキハムシが食べて葉脈だけ残った葉は芸術品のようにも見えます。こんなところから自然観察を楽しむのもいいですね。また、落ち葉はミズズなどの小さな生き物が分解し、土の栄養にしてくれます。

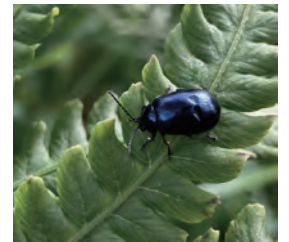
なお、今年のハノキハムシの食害は、ネイチャーセンターや春国岱周辺だけでなく、日高山脈より東側の地域において広範囲で発生しているようです。（私信）



▲葉脈を残して食べられた葉



▲ハノキハムシの幼虫。手前の小さな黒い点は幼虫のフン。



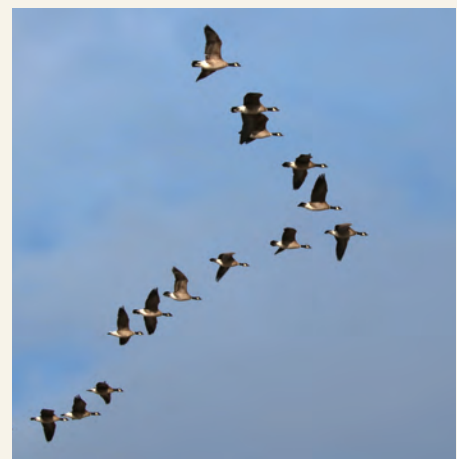
▲ヤマハノキの下草にいたハノキハムシの成虫

【参考文献】原秀穂. 北海道立林業試験場. ハノキハムシ. 独立行政法人北海道立総合研究機構. 2011. <https://www.hro.or.jp/forest/research/fri/database/zukanf/00top/kochu/hamusi/hannoki/note.html> (2024/8/18 閲覧)

## 春国岱クイズ

落ちる雁（ガン）と書いて落雁。10月はヒシクイやマガンなどのガンの仲間が渡りの途中で根室に立ち寄ります。「落雁」と聞いて多くの方が思い浮かべるのは和菓子かと思いますが、じつはこのガンのある行動も落雁と呼ばれています。その行動とは次のうちどれでしょう？

- ①夜にガンたちが寝ついて急に静かになること
- ②飛びながら寝てしまったガンがフラフラと落ちていくこと
- ③飛んでいるガンが翼を開いた状態で体を左右にゆらしながら、落ち葉が舞い落ちるように着水すること



▲飛翔するシジュウカラガン

## 春国岱ネイチャーセンターのイベント情報

### ◆9/29 春国岱・秋のガイドウォーク ※「ねむろわんぱくチャレンジ」のポイント対象イベントです。

春国岱の観察路（往復約4km）を歩きながら、アッケシソウの草紅葉やエゾシカ、秋の渡り鳥などを観察します。

- ◇日時：9月29日（日）9：30～12：00 ※風雨の強い時は10月6日（日）に順延
- ◇集合／解散：春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター／春国岱駐車場
- ◇対象：自分の足で4km歩ける小学生～おとな（小学生は保護者同伴）
- ◇参加費：1人100円
- ◇定員：20名（先着順）
- ◇服装・持ち物：帽子、歩きやすく汚れてもいい靴または長靴、雨具、手袋、飲み物、筆記用具、虫よけ対策（スプレーなど）、お持ちの方は双眼鏡（貸出しあり）
- ◇申込方法：メール、電話または直接。参加者全員の氏名、連絡先、小学生は年齢・学年もお知らせください。
- ◇申込締切：9月27日（金）17時



現在のスUNKメンバーは子育て世代も多く活動しています！



【問合せ・申込先】  
春国岱ネイチャーセンター  
電話：0153-25-3047  
Eメール：nemu\_nc@marimo.or.jp

### ◆10/21 春国岱ゆるふわボランティア体験

春国岱ネイチャーセンターの自然学習林では、シカの食害により枯れてしまう樹木が多くあります。樹木を守るため、ボランティアグループ「スUNK」のメンバーと樹木に古い漁網を巻く作業を体験してみませんか？

- ◇日時：10月21日（月）10：00～12：00 ※風雨の強い時は10月22日（火）に順延
- ◇場所：春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター
- ◇対象：春国岱ネイチャーセンターでのボランティア活動に興味のある18歳以上の方
- ◇定員：10名（先着順）
- ◇服装・持ち物：野外で活動できる服装、長靴、帽子、軍手、飲み物、タオル
- ◇申込方法：メール、電話または直接。参加者全員の氏名、連絡先をお知らせください。
- ◇申込締切：10月20日（日）16時

募集中！

### ボランティア『スUNK』

春国岱ネイチャーセンターでは、施設ボランティアグループ『スUNK』で活動して下さる方を随時募集しています。

『スUNK』は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的として活動しています。月に1回（基本的に第3月曜日）の定例会で、自然学習林の巡回や道標・樹名板などの管理を行ったり、市民向けのイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。

ボランティアに興味のある方、定例会の見学ご希望の方は、ネイチャーセンターまでお問合せください。

- ◆対象：18歳以上
- ◆年会費（ボランティア保険料含む）：1,000円

### フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 禁煙にご協力ください
- 野生動物の生息地です。マダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください
- ドローンを飛行される際は、他の利用者や野生生物に配慮をお願いいたします



クイズのこたえ 答③。身体が大きなガンたちは上空から水面に降りるとき、速度を落として安全に着地するためにこのような行動をとります。

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター（入館無料）

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL：0153-25-3047 FAX：0153-25-8570

Eメール：nemu\_nc@marimo.or.jp

HP [https://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](https://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

Facebook <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆開館時間 9：00～17：00（9月）／9：00～16：30（10～3月）

◆休館日：（毎週水曜日、祝日の翌日（土・日を除く）、水曜日が祝日の場合翌々日）

9月4・11・17・18・24・25日 10月2・9・15・16・23・30日

◆団体でご利用の方へ（事前予約制・2週間前までにご連絡ください）

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録